

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B1101-3		事務事業名		特色ある学校づくり推進事業		事業期間		平成15年度		～		令和8年度以降				
実施計画事業		○																
実施計画事業以外の事業				担当部		教育委員会事務局		担当課・担当係		学校教育課学校教育係								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	11	展開 方向	1	事業・予算区分	一般事業	款	10	項	1	目	3	大	8	中	1
	根拠法令・個別計画	地方教育行政の組織及び運営に関する法律(コミュニティ・スクール)						対象 (何・誰を対象に)	児童生徒とその保護者、教職員、地域住民									
	目的 (何のために)	学校ごとに、その教育方針に基づく特色ある教育活動を展開し、多様で柔軟な子どもの個性を伸ばすとともに、保護者も含めた地区住民と連携する地域に開かれた学校とする。 コミュニティスクールの推進 コミュニティスクール(学校運営協議会)を全小中学校に設置する。 夢の教室 トップアスリートなどが「夢先生」として、自らの体験をもとに「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝えることで、子どもの人格形成に質することを目的とする。 特色ある学校づくり事業 「特色ある学校づくり」を目指す。						内容 (どのような方法で)	コミュニティスクールの推進(報償費100千円) コミュニティスクールとは、学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みであり、平成30年度に全小中学校に学校運営協議会を設置した。この学校運営協議会委員や各学校の担当者に向けた研修会を開催し、先進事例等を紹介することで、各学校での活動を支援する。 (実計)(特定財源)夢の教室(委託金11,677千円) 「JFA(日本サッカー協会)心のプロジェクト」事業として、サッカーを含めた様々な分野のスポーツ選手やモデル、アナウンサー等が「夢先生」として学校に派遣され、「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」などをゲームと夢先生の経験を通じて子どもたちに伝えた。 特色ある学校づくり推進事業(補助金19,000千円) 各小中学校が、児童生徒の「生きる力」の育成を目指して行う学校独自の事業に対し、補助を行った。補助額は全学校から提出される企画書をもとに、予算の範囲内で審査・査定をするため一律ではない。									

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R2	R3	R4	R5	R6
			直接経費	決算額	千円	11,172	14,129
	財源	一般財源					
		国・県支出金	0	0	0	0	
		その他	0	3,107	3,366	10,740	
		計(A)	11,172	17,236	18,637	26,705	
		対前年比	%	—	154.28%	108.13%	143.29%
	予算額	千円	25,641	31,730	31,730	30,777	24,932
人件費	正規職員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	
	正規職員(平均賃金)	千円	3,743	3,743	3,743	3,743	
	その他職員	人					
	その他職員(時給×時間)	千円					
	計(B)	千円	3,743	3,743	3,743	3,743	
	事業費合計(C=A+B)	千円	14,915	20,979	22,380	30,448	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	11	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	—							
展開方向	1	2	—								
		3	—								

指標	指標ほか		単位	R2	R3	R4	R5	R6		
	成果指標	夢の教室開催回数	回	目標	45	85	85	85	45	
				実績	0	42	45	87		
		活動指標	事業実施校	校	目標	—	—	—	—	—
					実績	25	25	25	25	
	単位あたり 事業費	受益者数(a)		人	12,640	12,569	12,187	11,834		
		受益者あたり事業費(=C/a)		円	1,179	1,669	1,836	2,572		

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの								
	事業の達成状況と課題	<p>夢の教室 「JFA(日本サッカー協会)心のプロジェクト」事業として、サッカーを含めた様々な分野のスポーツ選手やモデル、アナウンサー等が「夢先生」として学校に派遣され、「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」などをゲームの時間と夢先生の経験トークの時間を通じて子どもたちに伝えてきた。</p> <p>特色ある学校づくり推進事業 予算の範囲内で審査・査定をする各学校の企画内容について、校長等による公開プレゼンテーションを実施しているが、学校間での情報共有不足により、各学校の工夫が共有されていない。</p>	<p>今後の実施内容・今後の改善</p> <p>コミュニティスクールの推進(報償費100千円) 平成30年度に全小中学校に学校運営協議会を設置し学校運営協議会委員や各学校の担当者に向けた研修会を開催し、先進事例等を紹介することで、各学校での活動を支援してきたが、理解がすすみ、各学校での研修を行っていることから、全体研修会は廃止する。 (実計)夢の教室(委託金11,677千円) 「JFA(日本サッカー協会)心のプロジェクト」事業として、サッカーをはじめとする様々な分野のスポーツ選手やモデル、アナウンサー等が「夢先生」として学校に派遣され、「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」などをゲームの時間と夢先生の経験トークの時間を通じて子どもたちに伝える。 特色ある学校づくり推進事業(補助金19,000千円) 児童生徒を育成するために必要な経費かどうかを精査し、各行の企画内容が経費に対して妥当であるかを、対費用効果の面からも検討していきたい。</p>	100	千円	節	7	細節	0	細々節	1
	改善の有無	有	<p>これまでの改善内容</p> <p>夢の教室(委託金11,677千円) 新型コロナウイルス感染症の対応のため、オンラインで実施をした年度もあったが、令和5年度より対面実施に戻している。オンラインではなく実際に体を動かしながらゲームを通して力を合わせたり、目標を達成するよさを実感することができた。また、夢先生から直に夢を持ち、失敗や挫折があっても諦めずに努力を続けることの良さ、大切さを聴くことで、自分と向き合い、夢や将来について深く考える機会とすることができた。 特色ある学校づくり推進事業 予算の範囲内で審査・査定をする各学校の企画内容について、校長等による公開プレゼンテーションを実施し、企画書についても全校で共有することにより、情報の共有化を図ることで、効率的な経費の運用に努める。</p> <p>事務事業評価</p> <p>コミュニティスクール研修会(報償費)</p>								

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき		当初、各学校での活動を支援したが、理解がすすみ、各学校で実施している事業については、全体会は廃止する。
有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	特に影響はない		一部を廃止後も活動に影響はない。
効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある		可能である
	外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい		公教育で行うべき事業である。
公平性	受益者負担は適正か	適正である		受益者負担にそぐわない。